

P.

編集委員長 高木泰夫 (新)日本山岳志』の編纂

見が一致した。しかし、相互の考え が高木支部長からあり、 月の支部長会議で「『日本山嶽志 の記念出版とすることを提案してみ 五年に創立百周年を迎えるから、そ の現代語訳を出版したい」旨の発言 てはどうか、ということで二人の意 ふっともらしたとき、本会が二〇〇 に若干の齟齬があった。一昨年十二 しなかったが、耳朶には残っていた。 このことを高木碕男岐阜支部長に この点につ

経緯

[岳会創立百周年記念事業

と申されたことがある。そのときは たいなものをつくったらどうやね」 司元会長が「日本山嶽志」の新編み 意がどこにあるかをうかがうことも 話題がすぐに他へ飛んで、先生の真 あったときのことである。つれづれ に雑談を交わしているとき、今西錦 それは四国の山を登るべく船中に

> たい」とお願いした。 出したらどうか」と訂正するととも 会議で「現代語訳ではなく、 に「各支部内で十分にご検討を賜り いては昨年二月の支部事務局担当者 新版を

できた。

事より日本山岳会創立百周年記念事 男、平井吉夫、岩瀬晧祐各図書委員 夫が集まり、検討の結果、大筋で以 進図書担当理事、大森久雄、小川益 年七月基本方針の検討会を開催。 下に述べるような内容で合意をみた。 および高木碕男岐阜支部長、高木泰 この間六月十日理事会で飯田理事 ム会議室に小倉茂暉副会長、 そこでこれをさらにつめるべく同 九月九日理事会に飯田理



1999年(平成 11 年) 月号(No.651) 日本山岳会 The Japanese Alpine Club 定価1部 150円

目 次

仮題「(新)日本山岳志」の編纂……1

体調に何らかの問題を抱えた人が山
に登る場合3
M・S・ソイン氏の歓迎会5
報告
資料委・ウエストン展6
山研委・焼岳登山とウエストン祭
6
科学委·高層気象入門 ·······6
データバンク研・インターネット
運用あれこれ7
科学委・火山ガスの危険を学ぶ…8
山研委・第二回上高地プチ・オー
タムコンサートを開催します…9
丹水会・堂所山・景信山行9
支部だより
福井・越前禅定道と白山10
青森・ウエストン祭に参加10
富山·北陸三県合同懇談会10
海外の山12
東西南北
七大陸最高峰に登って13
山登りを中心に据えて14
図書紹介16
『山・森・花』『チベットの白き道』
新入会員·図書受入報告17
会務報告・会員異動18
NFORMATION・ルーム日誌 …19
▶日本山岳会事務取扱時間
月 · 火 · 木 · · · · · · · 10~20時
水・金13~20時
第2、第4土曜日閉室
第1、第3、第5土曜日 …10~18時
▶図書室開室時間

日曜・祭日・月曜日を除く毎日 … …………13~20時

受けてくれる出版社として旧知のナ

これと前後して、この企画を引き

を打診した結果、快諾を得ることが

カニシヤ出版の中西健夫社長に意向

業の一環として提案し、承認された。これを昨年十二月の支部長会議に とさ部から編集委員一名を選出して いただくことを要請。以上のような いただくことを要請。以上のような 経緯をたどって、第一回編集会議を 五月二十九日、本会ルーム会議室で 五月二十九日、本会ルーム会議室で 新催した。以下はその結果の概要報 告である。

忘れることはできない。 暉副会長らから寄せられたご芳情を この間、斎藤惇生前会長、小倉茂

■第一回編集会議報告

編纂の意義

り担当する今回の記念出版事業は過 されて以来一世紀にわたってなおそ を経過しようとしているが、この間 山嶽志」を編纂されてからほぼ百年 また一九〇六年に高頭式氏が『日本 出版の基本方針 耐え得るような内容としたい。 の記念出版もまた今後百年間使用に の価値を失っていないように、今回 って高頭氏の【日本山嶽志】が出版 大きいものがあると考える。したが 大成して、山岳人の便に供す意義は 大な情報を得ているので、これを集 にわれわれが日本の山岳に関して膨 去に例を見ない画期的な企画である。 にあたって、全支部が主体的に関わ 日本山岳会が創立百周年を迎える

く新しいものとしたい。 の選定および叙述する内容をまった の選定および叙述する内容をまった の編集姿勢は踏襲するが、新著は山

題名について

検討によって追加もあり得る。論)、索引、後記とするが、今後の序文、山岳概説、日本山岳志(各主たる内容について 「多文、山岳概説、日本山岳志(各主なる内容について」とする。

京都市内に本社を置くナカニシヤ出版社について

編集委員長、同副編集委員長、同委出版(中西健夫社長)とする。

同副委員長 大森久雄(首都圏)編集委員長 高木泰夫(岐阜)

柏木宏信(北海道)

員について

(敬称略)

(広島) 吉川明秀(山陰) 松本徰夫· (青森) 菊地修身(岩手) 佐々木民秀 (青森) 菊地修身(岩手) 佐々木民秀 (青森) 菊地修身(岩手) 佐々木民秀 (計二) 左伯都夫(東海) 大槻雅 (秋田) 木村喜代志・田宮良一(山形) (秋田) 木村喜代志・田宮良一(山形) (大田) 木村喜代志・田宮良一(山形) (大田) 木村喜代高山) 太田義一 (大田) 宮本数男(福井) 種村重明 (石川) 宮本数男(福井) 種村重明 (石川) 宮本数男(福井) 種村重明 (太高) 下山壽

山の選定およびランクづけについて 各支部に選定委員会を設置し、担 等支部に選定委員会を設置し、担 当地域内で本書に取り上げる山を選 今西錦司氏、羽賀正太郎氏などの先 学が述べておられるが、なかでも今 一の錦司氏の「登山が究極を求める行 西錦司氏の「登山が究極を求める行 為である以上、その山域でもっとも 高い山」を選ぶという意見を尊重し たい。また従来の選定結果を見ると 東高西低の傾向が著しいので、この 点を是正したい。

大〇〇山前後を選びたい。 大〇〇山前後を選びたい。 本会選定の三百名山に相当するよう 本会選定の三百名山に相当するよう 本会選定の三百名山に相当するよう 本会選定の三百名山に相当するよう

執筆者の依頼、原稿量について

を支部では山域または地域ごとに を支部では山域または地域ごとに に執筆者相互で校正を行って完全原 に対筆者相互で校正を行って完全原 をする。なお、執筆者は会員であ ることが望ましいが、必ずしもこれ

また時代に即応して、写真、地図後としたい。

1000年

○○字前後、Cクラスで四○○字前で二四○○字前後、Bクラスで一二

本田誠也(熊本) 大谷優(宮崎

小倉茂暉副会長

深田泰三(福岡)

梅木秀徳(東九州

執筆分担について も許される範囲で付したい。

回執筆者に提示し補遺を求める。 一県以上にまたがる山岳の執筆者 山口または登山コースが位置する支 部または県で担当することを原則と し、後は紳士的な話し合いで決定する。 なお、以上のようにして決定された主 なお、以上のようにして決定された主 なお、以上のようにして決定された主 なお、以上のようにして決定された主 なお、以上のようにして決定された主 なお、以上のようにして決定された主 なお、以上のようにして決定された主 なお、以上のようにして決定された主

山座の配列について

ては今後検討して決定する。南へ、または東から西へとするが、南へ、または東から西へとするが、南の、または東から西へとするが、南側として主脈については北から

今後の日程

一九九九年

各山座ごとの原稿量は、Aクラス

との執筆者を決定する。本年末までに、担当する地域内の

ることを期待したい。

会員諸兄姉の特段のご支援を頂戴す より確かなものにしていくためには ではないが、この新著をより充実し、

1000~1100一年 1001~1001年 資料調査のみで、実地調査は行わな および副執筆者を決定する。 選定された山の調査(原則として 二県以上にまたがる山の主執筆者

10011~100四年 一〇〇五年 印刷および構成 原稿の執筆、山の配列決定 完成、 出版

事実、高頭さんがその序文で「将来 えるようなものができるはずである。 ッフもそろっているので、これを超 段に容易となっているし、よきスタ 時に比べると情報の入手と伝達は格 服を禁じ得ない。しかし現今では当 ら百年も前に高頭さんが独力であの こともできない。それにしても今か 業で、一人や二人の力ではどうする れるように、 碩学ノ山志編纂セラレン時、多少ノ 大著を上梓された努力と情熱には敬 参考トナランカ、世ノ同好者、明教 ニ吝ナル勿レ」とおっしゃっておら こうしてみるとこれは大変な大車 われわれは決して碩学

国際山岳連盟

医師ならびに非医師登山家向け

体調に何らかの問題を 抱えた人が山に登る場合

-ムス·S·ミレッジ/中島道郎(医療委員会)訳

の困難性に不慣れな人々には耐え難 的緊張を高め、とくにこういう旅行 文化の違い、生活様式の違いは心理 かかる。その上、その地域における 膝関節や股関節、腰や背中に無理が 肉体的に過酷な行為であり、 はあてにできない。高地徒歩旅行は 罹って当たり前、罹っても医療機関 ぱいである。世界的高峰はそのほと 山岳環境それ自体がすでに危険いっ い場合が多い。 んどが途上国にある。下痢・腸炎は とくに

崩した人があることに気づき、 る。だからもし、隊員の中に体調を その隊の安全を脅かすことはよくあ の病気が隊全体に影響し、さらには トレッキングにおいては、誰か一人 いにはゆかない」のである。 また、「無人島暮らしは都会みた 。遠征や

イラスト

蜂谷益雄

患者はその行動に制限が加えられる わけで、とくに呼吸・循環器系疾患 すますその影響は強く出る。という 患を既に持っている人の場合は、ま その能力を低下させるような慢性疾 輸送能力が落ちるということであり、 圧力が低い。換言すれば体内の酸素 低い。すなわち肺に吸い込む酸素の 高所では海面位に比べると気圧が

ことになる。 高所そのものの影響ばかりでなく

> 切れする病気の持ち主は、 呼吸器疾患 を参照していただきたい。 詳しいことは文末に挙げた参考文献 ばかりここに取り上げたいと思う。 ればもっと息切れが強くなることは 性肺疾患)などの海面位ですでに息 慢性気管支炎·肺気腫 高所に登

明らかである。 しかし喘息は、高所では発作頻度

はむしろ低下するとされている。高 忘れてはならないことはもちろんで を起こさない理由として優っている 原因であるところのアレルゲンがな の中には喘息発作を引き起こす一般 よりもむしろ、山の澄み切った空気 所の冷たい空気は気管支を収縮させ 普段使いつけの薬を持参することを 泌が増加するので、それもよいほう 感神経が緊張し、アドレナリンの分 ように見える。 いので、そのことのほうが喘息発作 発作を誘発する惧れがあるが、それ に作用している。そうは言っても、 しかも高所では、交

■高所と山岳環境の影響

した場合、その人はそれを隊の皆に が隊に何らかの影響を及ぼすと判断

少なく

ともリーダーないし同行医師 おれば)にはその責任がある。 知らせる道徳的義務がある。 具体的事項 ごくありふれた事項をほんの少し

(3)

普通に暮らせている人は、山でその 人で、術後の経過がよく、海面位で 圧で薬が効いている人とか、冠動脈 してはならない。しかし本態性高血 危険が増加するということはないと バイパス手術や血管拡張術を受けた (安定狭心症・心不全など) は登山 明らかに心疾患症状のある患者

得るかどうかは今のところよく分か 合、病因論的に高所が増悪因子たり でこれまで症状のなかった症例の場 相談したほうがよい。冠動脈狭窄症 てもよいことだけは確かである。 っていないが、あまり問題にしなく より先に、まずかかりつけの医師に できていても、高所旅行を計画する 狭心症患者は、薬でコントロール

向のある人は山に登らないほうがよ は危ないと忠告するだけで十分であ かく医療施設のないところに行くの るかは異論のあるところだが、とに い。血液凝固系に高所がどう影響す 向のある人とか、反対に凝固促進傾 かビタミン類は不要である。出血傾 でも大部分の人たちにとって鉄剤と から鉄剤を飲んでおくほうがよい る。鉄欠乏症の女性は、山に登る前 貧血患者は高所では息切れが強ま

> 者は、その病気が何であれ、医療施 同様に、抗凝固薬を飲んでいる患 必要がある。

状赤血球発症を起こして低酸素症に 設の不十分なところで休暇を過ごす 陥る危険性があるとされている。 〇〇メートル以上の高所では、その 球鎌状形成傾向の場合でさえ、二〇 不可である。その前段階である赤血 いう疾患がある。その患者は登山は 疾患であるが、鎌状赤血球貧血症と のは考えものである。日本にはない 一〇~三〇パーセントがいわゆる鎌

その危険性を予防するためと称して、 べき事柄はしっかり守らないといけ アスピリン(その他非ステロイド抗 効なのか、どちらとも証拠はないが、 流行っている。それが有効なのか無 登山前からアスピリンを飲むことが ら、血栓症を起こす危険性が高い。 炎症剤一般) をとるに際して注意す 高所では赤血球増多症をきたすか

内分泌障害

考慮しなくても、 性が高まるとされているし、それを 体をよく動かせばインスリンの感受 危険因子である。患者も同行者もと 休暇を楽しんでいる。しかしながら、 しない。実際多くの患者が高地での 高所そのものは糖尿病に何ら影響 低血糖はひとつの

> もに、低血糖も高血糖もどちらも危 そういう場合に医療関係者がいなく 険であるということを認識し、また、 手当ての方法を教えておいてもらう ても対処できるように、その症状と

ステロイド療法

り、そのためステロイドの必要量が というのは高所ではストレスが高ま 増加するからである。 登る時は投与量を増やすべきである。 法を受けてきている患者は、 副腎機能低下の故にステロイド療 高所に

がある。 ごそうなどとは考えないほうがよい。 多いから、 では本当にひどいことになることが 人も同じで、こういうものは山の中 に痔疾・肛門裂傷などを持っている よく治療しておくこと。下界ですで 消化性胃潰瘍のある人は、出発前に った種類の病気に罹ったことのある クローン病とか、潰瘍性大腸炎とい られる症状は下痢である。だから、 人は、このようなところで休暇を過 徒歩旅行者たちの間で一番よくみ 出発前に治しておく必要

神経障害

少なくない。偏頭痛持ちの患者は常 学的症状を伴うような重症の症例が は発作の引き金になる。しかも神経 偏頭痛持ちの患者にとって、

> ずいつもの薬を飲んでみたが一向に 普通、典型的な偏頭痛は頭の左右ど もその兆しが現れたらすぐ飲むこと。 である。 して、直ちにその対策を講じるべき 効いてこないという場合は、もう急 もし偏頭痛か高山病か判断がつかな 浮腫との鑑別が困難なケースがある。 診断できるが、それでも場合によっ ちらか一方だけが痛むということで に「持薬」を持ち歩き、ちょっとで 性高山病ないしは高所脳浮腫と判断 い場合は、とくにそれが、とりあえ ては、急性高山病、さらには高所脳

脳血管障害

告しておくほうがよい。 と推定される患者には、高所では 害の前歴があったり、あるいはそう 中・頚動脈閉塞といった脳―血管障 きやすくなるから危険ですよ、と忠 マトクリットが高くなり、血栓がで これまでに一過性脳虚血・脳卒

癲癇(てんかん)

発作の危険性が増大するという証拠 じ要領で高山歩きを楽しんでかまわ ている患者は、低山ハイキングと同 はない。だからうまく発作制御でき いと思われているようだが、高所で 癲癇の人は高所に登ってはいけな

関節と靭帯

徒歩旅行では、長い下り道などの

しておくことができる。 出発前に自分自身でそれを低地で試 いう弱みを持っているかどうかは、 いではない。だから自分が何かそう り返すが、これも高所そのもののせ な弱みさえもはっきり出てくる。 場合はとくに、両下肢関節のわずか

ことではない。 のを我慢するのは決して誉められた て持って行くことをすすめる。痛い いろいろ違った薬をたくさん用意し かも適当量を、食後に飲む。それも 剤が有効である。それを早めに、し 対策として、非ステロイド抗炎症

耳鼻咽喉ならびに歯科疾患

国するまでの間はそれで済ませてお それは抗生剤で制御できるので、帰 疫能が低下することの反映であろう。 くみられる。それは多分高所では免 ある。歯槽膿漏は高所では非常によ りした歯の故障などもあれば同様で 出発前に処置しておくこと。はっき 呼吸を妨げるほどの鼻ポリープは

という冒険は、時には体調が優れず 面白くない場合もあるけれども、そ 大多数の人々にとり、高山へ登る

> とより同行者にとっても悩みの種に もなく適応させる人たちもいるが、 それを卒業して高山に挑むというの れでもやはり素晴らしい体験である。 精神障害者となって、自分自身はも 明らかに心理学的な不適合をきたし、 ほとんどの場合はそうはいかなくて、 非常に異なった生活様式に何の問題 たまにはそれが全部うまくいって、 現実的な考えを実行に移す人もある。 きなり大旅行がしたくなり、全く非 ひらめいて、何の経験もないのにい をハイキングしたりする段階を経て、 の近くでキャンプしたり、近くの山 まず低い丘の家族遠足に始まり、家 高所登山に至る過程は大抵の場合、 なる例が多い。 が普通である。しかし、中には突然

■ 結語

も多くの人々は、慢性疾患を持ちな できるのである。 がら山の中での休暇を楽しむことが な面に焦点が向いてしまう。けれど この種の話は、どうしても悲観的

自分自身と同行者に対し素直になり、 すりあわせ、他人の忠告を取り入れ、 重要なことは、その状況を現実に

> のに仕立てあげる、ということであ その旅行をその人の能力にあったも

*参考文献

OWard, MP., Milledge, J.S. and West, J.W.(1995) High Altitude Medicine and Physiology 2nd, Ed

OHultgren, H.(1997) High Altitude OPollard. AJ and Murdoch, D. (1998) Stanford, p424-70 Medicine. Hultglen Publications Chapman & Hall, London, p543-53

与されている。

-cal Society)よりNESS賞を授

Ed., Radcliffe Press. Abingdon The High Altitude Handbook, 2nd

M・S・ソイン氏の歓迎会

次総会に、環境とエコ・ツーリズム Singh Soin) 氏が、PATAの年 ップ・S・ソイン(Mandip 地理学協会の会員でもあるマンディ 理事で、ニューデリー支部長、王立 のゲスト・スピーカーとして来日さ 四月中旬、ヒマラヤン・クラブの

同氏の歓迎を兼ねインド・ヒマラヤ 二十二日夕、本会集会室において、 ラブ日本支部との共催により、 たが、当委員会ではヒマラヤン・ク 同氏は東海支部総会にも出席され

今年もとけて会いましょう

は王室地理学協会(Royal Geographi ストラクターとして協力、九二年に ド・ヒマラヤ事情に精通している他、 の現状を聞く会を開催した。 ンの北極アイスウオーク隊にもイン 国連UNEP後援のロバート・スワ ても知られている。一九八九年には、 ィションの代表として、最近のイン インドでは珍しい極地の探検家とし 同氏はアイベックス・エクスペデ

パイン・スタイルによるメル峰登攀 イドを交えたスピーチがあり、アル (インド人初)のビデオも上映され 当日は歓迎懇親会に先立ち、スラ

など三十数名。 Z1 (六四○○メートル)に初登頂 にキシュトワール・ヒマール東部の 会)の尾形好雄氏や、ソイン氏が八 に当会の斉藤会長、 した三好誠氏、唐木千岳氏ら、それ オフィサーとして参加した時、一緒 〇年八月に北大WV隊にリエゾン・ 出席者はHAJ(日本ヒマラヤ協 理事会メンバー

パー氏とその友人のエド・ハントさ スコットランドの登山家ケン・ホッ な楽しいパーティーとなった。 んも飛び入りで参加し、国際色豊か 銀座でソイン氏にばったり会った

松田雄二



日本山岳会の各委員会 同好会の活動報告です。

焼岳の岩でごつごつした姿が現れる。

焼岳小屋に着いたのが九時十五分。

ウエストン祭とウエストン展

からであった。 と住所が記入され、それも全国各地 記入簿には、総数百三十六名の名前 とは思えないが、お蔭さまで資料室 十二日までの会期は決して長かった 所で実施した。五月十七日から六月 た初めての資料展を上高地山岳研究 「ウエストン資料特別展」と銘打っ

いる」など、おほめの言葉をいただ いにも多くの方々から「よくできて スケース内に整然と準備された。幸 を中心に、約五十点が、壁面やガラ の図書、レプリカ、関連図書や資料 じく署名入り肖像写真など本会所蔵 ウエストンの署名入り原書や、同

きた、との思いもある。 資料展であったし、盛況裡に終了で 一般的には本邦初公開ともいえる

示と併せて大変興味深かった。 があり、ウエストンに関する資料展 よる「ウエストンと上高地」の講演 ウエストン研究家の田畑真一会員に 北アルプス山小屋友好会のご協力を なお [上高地区] 上高地旅館組合、

(文責・鰺坂青青、代・溝口洋三)

焼岳登山とウエストン祭 新会員のための

いる。

研究所を足場に行われた。 行事が、好天に恵まれた六月五、 日の二日間、日本山岳会上高地山岳 した「焼岳登山とウエストン祭」の 平成十年度入会の新会員を対象と

に着いた。七時二十五分山道に入り、 前で登山リーダーなどの紹介の後出 通過すると、やがて樹林帯を抜け、 鉄梯子のかかった岩場を二カ所ほど たどる。登りがだんだん急になり、 湯ノ沢を渡って樹林の中の尾根道を 初日の五日は「焼岳登山」。山研 林道を三十分ほど歩いて登山口

下には青々とした上高地が広がって 奥穂高、前穂高、明神岳と続き、 ら笠ヶ岳、少し間をおいて槍ヶ岳、 と、穂高連峰が目前に広がり、 禁止になっているという。振り返る 見えるが、崩落の危険があり、 (二四五五メートル) がすぐ間近に の頂上に立つことができた。南峰 出している噴気孔の横を通って十一 に雪の残った鞍部や、水蒸気が噴き ごろした砂地の道を登り、まだ斜面 旧中尾峠からは、岩と石ころのごろ る眺めのよい小さなピークに着いた。 再び三十分登ると、展望台と呼ばれ 焼岳北峰(二三九三メートル)

登山

を流して十六時頃までに全員が山研 ウヤナギの白い綿毛が舞っていた。 の中、小梨の花が咲き乱れ、ケショ 会長や小倉副会長などが挨拶、予定 いて上高地入りされたばかりの大塚 に帰り着いた。夕方には徳本峠を歩 上高地温泉ホテルに寄って入浴、 になかったことでビックリした。 夜は山研地下一階の資料展示室で 下りてきた上高地は鮮やかな新緑

> この碑前祭は、信濃支部の主管で毎 による合唱で幕を開けた。信濃支部 登喜子さんらエーデルワイスクラブ を偲んで開かれているもの。たくさ トン(一八六一~一九四〇)の功績 で登山家だったウォルター・ウエス 年六月の第一日曜日、英国人宣教師 員の記念講演で締めくくられた。 発表などと続き、最後は松原尚之会 った「ウエストン師に捧げる歌」の 詩の朗読、地元小学生の合唱も加わ どの挨拶、碑への献花、尾崎喜八の 長、日本山岳会会長、安曇村村長な んの人々が参加して午前十時、坂倉 二日目は「ウエストン祭」に参加。

い上高地を満喫できたことを感謝し 天気にも恵まれ、初夏の素晴らし (福岡支部 高木荘輔

局層気象入門

わたり高層気象の基礎を学んだ。 六月二十四日、七月二日の二回に

線の検出に都合のよい八五〇ヘクト など地上の影響を受けないので、 度の分布を示すもの。建築物、森林 象要素の分布を示すのに対し、高層 第一回(六月二十四日) 天気図は一定気圧面上の等圧面の高 講師・清水輝和子氏 (日本気象協会) 地上天気図が高度〇メートルの気

とその下の平均気温は低い。両地点 の風は前者で強く後者で小さい。 度差が小さい。したがって等圧面 大きく、気温差が小さければその高 の下の平均気温は高く、高度が低い 度約九〇〇〇メートル)などがある。 きを見る三〇〇ヘクトパスカル(高 す五〇〇ヘクトパスカル(高度約五 空気の動きを代表し、台風を押し流 パスカル(高度約一五〇〇メートル)、 の気温差が大きければその高度差が 五〇〇メートル) ジェット気流の動 ートル)、対流圏の真ん中にあり、 ヘクトパスカル(高度約三〇〇〇メ 広がりや降水量を判断できる七○○ 対流圏の下層を代表し、下層の雲の 同じ等圧面では、高度が高いとそ

算できる。 その値を半分にするとm/secに換るが高層天気図ではノットで表わし、 もが上天気図の風速はm/secであ

になると異常気象になりやすい。 になると異常気象になりやすい。 になると異常気象になりやすい。 になると異常気象になりやすい。 になると異常気象になりやすい。 になると異常気象になりやすい。 になると異常気象になりやすい。 になると異常気象になりやすい。 と暖気が底は。 で悪気の流れの中に暖気後取り残されるブロッキング型に移行する南北 が起きて寒気と暖気が蛇行する南北 が起きて寒気と暖気が蛇行する南北 が起きて寒気と暖気が蛇行する南北 が起きて寒気と暖気が蛇行する南北 が起きて寒気と暖気が蛇行する南北 が起きて寒気と暖気が蛇行する南北 が起きて寒気と暖気が蛇行する南北 が起きて寒気と暖気が蛇行する南北 が起きて寒気とで見ると、北極か カルの高層天気図で見ると、北極か カルの高層天気図で見ると、北極か カルの高層天気図で見ると、北極か カルの高層天気図で見ると、北極か カルの高層天気図で見ると、北極か

ころは(同一気圧面の高度が下がっているから)気圧の谷、暖気が北にているから)気圧の谷の後方では下降気流なる。気圧の谷の後方では下降気流が生じ空気は収束、地上では空気が発散して高気圧となる。逆に気圧の谷の前面では上昇気流が生じ空気は発散、地上では空気が収束して低気発散、地上では空気が収束して低気に傾く。この傾きが大きいほど低気に傾く。この傾きが大きいほど低気に傾く。この傾きが大きいほど低気に傾く。この傾きが大きいほど低気に傾く。この傾きが大きいほど低気に傾く。この傾きが大きいほど低気を散、地上では空気が収束して低気に関いるとでは、地上では気が大きいは気圧の谷があると天気はあい。

念であった。

念であった。

のの他エルニーニョ現象の時の高層の高圧部、低圧部の配置とその動層の高圧部、低圧部の配置とその動層の高圧部、低圧部の配置とその動層の高圧部、低圧部の配置とその動

第二回(七月二日)

二〇度付近にあり、最上部ではそれの超高層気象の構造が分かっているの、気象学で扱う範囲は五〇キロメートルくらいまでで、大気の循環のある対流圏は高緯度地方で八キロメートルくらいまでで、大気の循環のある対流圏は高緯度地方でのカートルくらいから赤道付近の一八キロメートルくらいから赤道付近の一八キロメートルくらいから赤道付近の一八キロメートルくらいから赤道付近の一八キロメートルくらいまでである。寒気が、気象学で扱う範囲は五〇年のでは、元日本気象協会)

面に前線ができているのが分かる。面に前線ができているのが分かる。を比較すると、高層の気圧の谷の全を比較すると、高層の気圧の谷の全を比較すると、高層の気圧の谷のない。

念が少しは理解できた。(北野忠彦)のが残念であったが、高層気象の概マだったためか参加者が少なかった高層気象というなじみの薄いテー

運用あれこれ リACインターネット

JACホームページ(以下HP)

課題をご紹介します。これまでを振り返り、運営の様子やが開設されて一年半以上経ちました。

■JACの案内、活動紹介

JACの入会照会が時々あるほか、 JAC関連以外の登山家や山岳関連 JAC関連以外の登山家や山岳関連 の団体活動、博物館などについての 多岐な質問が寄せられます。登山、 りで、喜ばしい反面、サービス・コ うで、喜ばしい反面、サービス・コ ンサルタントではないので、一部の ンサルタントではないので、一部の ンサルタントではないので、一部の ンサルタントではないので、一部の ンサルタントではないので、一部の ンサルタントではないので、一部の といます。

ト、短い棒が五ノット、槍先形が五〇風向を示す矢羽は長い棒が一〇ノッ

JACを訪れた海外の山岳関係者へのHP紹介がきっかけで、ヒマラベのHP紹介がきっかけで、ヒマラ岳地域の県警と登山情報のあるHPと相互にリンクを張り、安全な登山と相互にリンクを張り、安全な登山と相互にリンクを張り、安全など、J

■海外遠征記録

載しています。 「山岳」に掲載された海外登山記録を日本語、英語のホームページに掲載された海外登山記録任日録の公開は現在一九九一年以降

JAC遠征記録は、資料作成に協力 に成しています。一九九○年以前の 作成しています。一九九○年以前の 作成しています。一九九○年以前の を成しています。一九九○年以前の が、手不足なため、資料を員会お

HPへの遠征報告の掲載は対象外と けっしかし簡単なQ&Aが精一杯で、 方AC関連以外の活動については、 方AC関連以外の活動については、 方AC関連以外の活動については、 方AC関連以外の活動については、 にめ多くの方々に情報や助言をいたじめ多くの方々に情報や助言をいたがきながらできるだけ対応しています。

一助とすべく対応をしています。
相対では日本の登山隊情報は不明程度で、大半の経過など詳細は不明な場合がほとんどでしょう。国内では、市販の雑誌などでもそれらの情は、市販の雑誌などでもそれらの情は、市販の雑誌などでもそれらの情は、市販の雑誌などでもそれらの情は、市販の雑誌などでもそれらの情に対しています。

事務的連絡

JACのEメールアドレスに、住 リスCのEメールアドレスに、住 リスCのEメールアドレスに、住 リスCのEメールアドレスに、住 リスCのEメールが、アAX同様に事務局でも リスに使われるようになるでしょ リボ、現在は到着したEメールを リールが、アAX同様に事務局でも リールが、アAX同様に事務局でも リールが、アAX同様に事務局でも リールが、アAX同様に事務局でも リールが、アAX同様に事務局でも リールが、アAX同様に事務局でしょ リールが、アAX同様に事務局でしょ リールが、アAX同様に事務局でしょ リールが、アAX同様に事務局でしょ リールが、現在は到着したEメールを ロールます。

その他課題

最近は日常的にインターネットを

の緑に目を洗われて到着した時、

迎

音もなく出ているところもある。火ているからで、湯気がなくガスだけ

ルのやり取りも行われています。 今後は、遠征隊がベースキャンプ 今後は、遠征隊がベースキャンプ からも衛星通信などでEメールのレ からも衛星通信などでEメールのレ からも衛星通信などでEメールのレ カっこのような、速報性をもったニ う。このような、速報性をもったニ コースや登山情報を、今後JACの ユースや登山情報を、今後JACの コースや登山情報を、のでしょ

の課題です。

以上簡単に紹介しましたが、支部以上簡単に紹介しましたが、支部

願いします。
(多田真弘)皆さまの一層のご理解とご協力をおに努力を重ねていますので、会員のに努力を重ねていますので、会員のに努力を重ねていますので、会員の

学委員会·探索山行——

火山ガスが出て流れている様子や、

現地沼ノ平で学ぶ火山ガスの危険を

火山ガスの危険を学ぶための現生水山ガスの危険を学ぶための現生体である。一昨年九月の四人の遭難はまだ記憶に新しいところだ。
に新しいところだ。
にがスは、まず浄土平へ向かった。
は、あの安達太良山・沼ノ平である。

なった。名。終始、案内に説明にとお世話にえてくださったのが、地元支部の三

母の主成分は硫化水素である南斜面で 会員もいる。下る道々、吾妻小富士 一のお鉢の全容が見事に眺められた。 のお鉢の全容が見事に眺められた。 のおから千葉茂樹講師(福島南高校 を伴う観測を続けており、噴出ガ スの主成分は硫化水素であるという。 今年五月、火口原で行われた観測や 今年五月、火口原で行われた観測や

世温が高いためアイゼンをはいて歩いた一帯の強烈な臭気、泥をまじえいた一帯の強烈な臭気、泥をまじえて吹き上げる噴気口群、沸き立つ蒸気、硫黄の沈殿物を流す黄色い熱水気、硫黄の沈殿物を流す黄色い熱水気、硫黄の次口原に防毒マスクもつけ灰白色の火口原に防毒マスクもつけ灰白色の火口原に防毒マスクもつけ灰白色の火口原に防毒マスクもつけんのでき出いる一般登山者の映像だった。講師は「無知ほど恐ろしいものはない」と強く警告。 しいものはない」と強く警告。

は慣れてきかなくなる。ガスの通りは慣れてきかなくなる。ガスの臭いに嗅覚すい地形もある。ガスの臭いに嗅覚はで見し難く、突発することもあるという。

前日これだけ叩き込まれてからの実地勉強は、登山口に建つ鎮魂碑のいう自覚に始まった。注意すべき山いう自覚に始まった。注意すべき山いの変色について説明を受けたあと、肌の変色について説明を受けたあと、肌の変色について説明を受けたあと、れる。限下に広がる荒涼とした風景。出た。眼下に広がる荒涼とした風景。出た。眼下に広がる荒涼とした風景。出た。眼下に広がる高度をがある白泥のたまりからの高度差がある白泥のたまりからの高度差がある白泥のたまりからの間歇的に茶色い泥が噴き上がるのが間歇的に茶色い泥が噴き上がるのが

船明神山、安達太良の山頂で眺望 を楽しみ、くろがね小屋へ下った。 活火山の七割で火山ガスが噴き出 しているという日本。どこでも相当 の注意が必要である。結局は登山者 自身が火山ガスの危険性をよく認知 し、噴気地帯の場所、ガスの組成な との情報をつかんで適切に判断しな くてはならないのだ。

きたいと思う。 (福山美知子)事による詳説をぜひ再読していただては「山」六四二号所載の森武昭理事故の実情、身を守る対処法につい事故の実情、対しがなる基本的な認識や、

コンサートを開催します 第二回上高地プチ・オータム

ック音楽の小品集を演奏する「小さ にして、ヴァイオリンによるクラシ な秋の音楽会」が開催されます。 今年も上高地の山岳研究所を舞台

申 슾 슾 朝食、 係」。先着二十名で締切。 に山研運営委員会「コンサート 込 場 ゴミ処理代 上高地山岳研究所 ワイン付きコンサート参 九月二十五日出 ハガキで九月二十日まで 万一千円(宿泊、 十九時 夕食、

が伝わってきませんか。 の感想を掲載します。当夜の雰囲気 のコンサートに参加された武田さん オリンの音色に酔いました。 昨年は地元の人たちも含めて三十 ワインを傾けながら、 ほのかなキャンドルの灯りの 第一回 ヴァイ

一回のコンサートに参加して 武田裕司

ザーのミニコンサートです。美味し ました。ヴァイオリンとシンセサイ てきた上高地で素敵な催しが行われ 昨年九月末の夜、秋色の濃くなっ

> らジャズ、シャンソン、そしてポピ リラックスした雰囲気の中、三十名 の気持ちを表わしていたのではない なる文化が出あい、響き合う楽しい 員の皆さんとの交流は、それぞれ異 とって「山」は未知の世界。山岳会 沢な時間を過ごすことができました。 本番とのことでしたが、そこはお二 なか、わずかなリハーサルだけでの ュラーまで。忙しいスケジュールの ほどのお客さんが演奏を楽しみまし い料理と歓談のあと、ワイン片手に てよかった」の曲は、まさにこの夜 奏者の高橋さんが作曲された「会え ても山の中にいるとは思えない、贅 人ともプロ。素晴らしい演奏で、と た。曲はバッハなどのクラシックか 夜となりました。ヴァイオリン演 また、音楽を仕事とするお二人に

しています。 謝するとともに、これからも地元と かと思います。 った日本山岳会山研委員の方々に感 緒になった楽しい企画を心待ちに こうした演奏会を企画してくださ

(自然公園美化管理財団職員)



講演と山歩きを楽しんだ例会

地下のプレイルームで行われた交

昨年末に新潟県津南町に赴

堂所山・景信山行 丹水会・第二十六回例

にあるペンションを借り切って第三 五月二十九日、神奈川県相模湖町

しい歓談の時を過ごした。 アルコール飲料を十分に堪能し、 越後の酒をはじめ、会員差し入れの 任した会員の武藤夫妻から送られた

淳一氏が、私見も交えて丹沢地域の 講演終了後の質疑では、 神奈川県の林務行政のベテラン紅葉 していただいた。 ぶ理由と背後にある問題点の説明を ての質問が出されたが、 森林経営の展望を語ってくださった。 十六回丹水会例会が開かれた。 夕食前の丹沢に関する講義では 数項目に及 林道につい

マラヤの魅力とトレッキングの実際を説明します。 〈全会場 18:30~20:30〉 슾 退職金機構(旧中退金)ビル8Fホール (地下鉄御成門駅下車。芝パークホテル並び 東京 大阪科学技術センター403号室 (地下鉄四ツ橋線本町下車。初公園北側) 大阪 名古屋国際センター第3研修室 (地下鉄桜通線国際センター駅下車。桜通 结屋 アクロス福岡6F会議室 福岡 札幌 9/10(金

TEL.03-3503-191 福岡☎092(715)1557 〒105-0003 港区西新橋1-12-1 (西新橋1森ビル) 名古屋☎052(581)3211

と時間をかけ、ウグイスやホトトギ ス、春ゼミの鳴く初夏の山歩きを楽 所山へ登った。尾根歩きはゆったり いていた。 しんだ。足元にはフタリシズカが咲 翌日は夏の日差しが降り注ぐ好天 地元会員の案内で、 底沢から堂

とができた。 背負ったワインにひかれた数人と別 城山で、高尾山に向かう若手幹事が 良へ下山した。千木良では、遊んで れ、大部分の自家用車利用組は千木 くの人を認め、途中のピークで昼食。 国道を歩くことなく出発点に戻るこ いた子供に抜け道を教えてもらい 景信山で昼食の予定が、 國見ゆみ子 山頂に多

(9)

山 651-1999·8·20 (第三種郵便物認可)

JAC 支部だより

全国各地の支部から、独自の活動状況を

越前禅定道(六万山)と 白山の山スキー

明日からの白山を望見する。 りをしたいとのことで同行。 の本向寺にあるお墓にお参りし、 郎さんが来福され、深田さんの墓参 五月二十一日、首都圏の山本健 国見岳の一等三角点を探訪して 大聖寺

五月二十二日、市の瀬から登山口 雪が少 明日

ど到着したところだった。夕食時ま まで歩き、整備なった越前禅定道を ンスキークラブのメンバーがちょう 別当出合いの駐車場に戻る。 ない。観光コースに出たところから、 登るコースが望見できるが、 六万山に登る。白山の展望台、 車で永井旅館に帰ると、 アルパイ

散策、新緑のブナ林の森林浴となっ で時間があり、チブリ尾根コースを

五月二十三日、

六時、

線でスキーをデポ、頂上に立つ。 展望を楽しみながら滑降し、 は黒ぼこ岩から急斜面の沢を快適に 平で休憩する人と分かれ、頂上組は ここからシールをつけて登行。 甚之助の避難小屋までスキーを担ぐ。 水屋尻雪渓を詰める。雪の切れた稜 頂上組はエコーラインを、 雪の切 室堂組

た二日間だった。 夜の懇親会と山スキーで交流を深め ルパインスキークラブの人たちと、 れるところまで楽しんだ。 支部のメンバー六名が参加し、ア (宮本数男

集いでした。会員合唱の後、

戸来餅

青森支部次長の祝辞など、心温まる の会」の誓いの言葉、日本赤十字社 また本年は「ウエストンに捧げる歌」

の発表も行われ、「ウエストン師友



白山で晩春の山スキーを満喫

旅館出発。 まわれたこの地方で、W・ウエスト 子さんとともに出席いたしました。 師碑前で行われ、関西支部の宗實慶 来彌氏宅の前庭の、W・ウエストン ン祭が青森県三戸郡新郷村の会員戸 ン師はぬかる道を救援活動に取り組 んだとのことで、感謝を捧げました。 ウエストン祭に参加して 明治三十六年、未曾有の飢饉にみ 五月三十日、第八回青森ウエスト

まれ、心も晴れ晴れとした一日でし は彩られ、初夏の緑は心地よい風を レイソウ、 キイチリンソウ、サンカヨウ、 がふるまわれました。 加者は戸来岳に登りました。キクザ た。前夜泊まった民宿(杉村勝司会 最高の贅沢でした。 の山菜や岩魚を炭火で焼きながらと、 **員経営)の炉端の夕べも、採れたて** 山岳会青森支部の協力により、 八幡平、岩手山などの展望に恵 頂上からは八甲田山や十和田 シラネアオイなどで足元 エン 参

作詞·水野節子

- ウォルター・ウエストン師に 捧げる歌 作曲·水野昭太郎

世界に その名を広めてくれた ウエストン 明日は君と登ろう ザイル担いで連なるあの尾根越えて はがね色した光が 白いアルプスの山脈は静かに目覚め 山に魅せられて あなたはアルプスの 山肌を射す 憧れ連れて

されたこの歌のテープは、製作者の 注・青森ウエストン祭で発表・披露 ウォルター ウォルター 資料委員会で保管しています。 会員戸来彌氏より本会に寄贈され ウエストン ウエストン (以下省略) 愛の星 愛の華

富山支部

北陸三県合同懇談会

~六日、 談会は、 県(福井、石川、富山) しやま・九五九メートル)で開催さ 今年で八回を数える恒例の北陸三 富山支部の担当で、 富山県の負釣山 合同支部懇 (おいつる 六月五

ばないものの、 状地と名を和らげるあたりの右岸に 位置する。周りの山々に高さでは及 高峰であり、さしもの黒部峡谷が扇 負釣山は富山県東部の入善町の最 その三角形の山容は

津田リーダー率いる石川支部、 見「バーデン明日」温泉に集合する。

うど日本滞在中ということで参加し 支部五十周年記念山行で、ネパール しぶりの再会に楽しい挨拶が飛び交 リーダー率いる福井支部の面々、 てくれた。 パのビル・ビルバードさんだ。 のビケピーク登山に同行したシェル 珍しい人物もいた。一昨年富山

六合目あたりまでは緩やかなアッ

と視界が開け、絶好の休憩場所とな の急登が待ち構えていた。登りきる ラナワにつかまりながらの痩せ尾根 プダウンが続いたが、七合目へはト



33名が参加して北陸三支部合同登山

オコ谷途中で下車。七時四十五分、 出発する。小川支流の舟川を遡り、 た後、登山口に向け、車に分乗して った。宿の玄関より負釣山の頂上ま いよいよ登山開始である。 よる周辺の山々のレクチャーを受け でくっきりと見渡せる。湯口会員に 明けて六日は素晴らしい快晴とな

よすぎる」「風がない」などと贅沢 文字につけられていた。 ワ熊のテリトリーを示す爪痕が横 部川が一望できる。標柱にはツキノ メートルの四合目に出た。右手に黒 しばらくすると尾根が開け、六七九 な文句を言いつつ、三合目を過ぎて 快晴のもと、大汗をかく。「天気が れた。二合目あたりからブナが混じ 所要時間は約二時間のはずである。 ってくるが、相変わらず急登が続く。 コナラ、ミズナラの混じる雑木林を 十分ほど登ると、一合目の標柱が現 いきなり尾根道の急登が始まった。

そびえ、黒部扇状地のどこからでも 棚山と称されている河岸段丘越しに

よく見える、存在感のある山である。

五日午後、負釣山の麓、

入善町舟

されていたが、日差しを避けて木蔭 で小休止する。 っていた。朽ちかけたベンチも用意

さっそく一風呂浴びた後、木戸富

と話が弾み、夜遅くまで酒を酌み交 た。いつものごとく、あれやこれや 山支部長の乾杯の音頭で宴会となっ

連なり、 さの中、返ってくる。別ルートの西 を向けば左手に初雪山、そして朝日 着いた。三六〇度の展望である。南 拍子抜けのまま九時三十分、頂上に ら頂上へは標柱間隔がなぜか短く はもう頂上に着いている。七合目か をかけると、「お~い」の返事が暑 右手には剱岳より延びる毛勝山、 尾根を登っていた高柳、有沢両会員 頂上方向へ「ヤッホー」のコール 白馬岳へと連なる後立山連峰が 僧ヶ岳の北方稜線上の峰々が 北へ振り返れば黒部の大扇 駒

状地の向うに日本海、 っている。 昨夜の宿「バーデン明日」も眼下

有磯海が広が

忘れた。 世間話に花を咲かせ、 浸りながら、新緑の風景を満喫し、 つ目にしなかった。充実した疲れに に見える。登ってくる途中、 時の経つのも ゴミー

四名、 年の再会を約束して解散となった。 呂に浸かり、汗を流す。昼食後、 を収穫してきた。さっそく大露天風 たメンバーは、しっかりとススダケ 時ちょうどに着く。 西尾根を下山し 参加者は福井支部七名、 十時三十分、下山開始。 富山支部十二名。 石川支部十 (藤条好夫 宿に十一

新ハイキング選 藤井寿夫著

286頁・定価1680円 (税込)

中央線の山を歩いて50年、中央線の山107座の 朝立ち、日帰りの範囲内、あまり 登山者の歩かれていない山に重点を置いてい る。読物としても楽しい。 增刊出来

足立真一郎画伯著 山岳画家の第一人者 上製本 定価1835円(税込)好評三刷発売中 一層豊かに楽しくする。 私の山歩 その都度幾枚かのスケッチをする。その ッチを中心とした、画文集。

新ハイキング社

東京都北区滝野川 7-6-13 電話·FAX 03(3915)8110

エヴェレスト うひとつの事

江本嘉伸

ースコルで撮影中のノエル (The Assault of Mount Everest 1922)

エヴェレスト登山隊とチベットとの 確執の経緯が明らかになろうとして これまで知られていなかった、 発見は、衝撃を与えたが、その陰で ジョージ・リー・マロリーの遺体

ったのである。

ンドが就任したばかりだったことが、

計画に拍車をかけた。地理学会と山

たのは、 変えて紹介したい。 日付読売新聞にも書いたが、 エヴェレスト登山が具体的になっ このことについては、七月二十六 第一次世界大戦終了後の 視点を となった。 会がやり、 を結成し、ヤングハズバンドがその 岳会が合同で「エヴェレスト委員会」 **委員長におさまった。交渉は地理学**

隊員選考は山岳会の仕事

許可は、ダライ・ラマの信を得てい ち帰らないこと」を条件に、 その地域の鳥獣を殺さず、鉱物を持 るチャールズ・ベルの存在がものを を許可したのである。三次にわたる イ・ラマはついにエヴェレスト登山 いった。「所定のルートをはずれず、 た経緯は、周知の通りだ。 が、アーヴィンとともに消息を絶っ 登山隊のすべてに参加したマロリー 最大の難問だったチベット政府の かし、二四年の悲劇に限らず、 ダラ

地理学会で、冒険好きな軍人、 と演説し、にわかに現実の問題とな ァーラーが「今こそエヴェレストを」 トのエヴェレスト地域を旅した時の 九一九年三月十日、ロンドンの王室 遠征の必要を説き、山岳会会長のフ 模様を講演したことがきっかけ、 ル大尉が一九一三年ひそかにチベッ この講演でノエルはエヴェレスト 地理学会の会長に、ヤングハズバ ノエ ٤ 登山にはいろいろな問題が起きた。

されている。

を非難した。 チベット人たちは「チョモランマが 崩で七人のポーターの命が失われ、 怒った」と、英国人の試みそのもの

ドンに連れて行ったラマたち」とい という本には、「ノエル大尉がロン ラマ僧たちをロンドンまで「無断で」 行ったことが問題となった。 ドがラツェという村まで「無断で」 がロンシャールという谷に、 Tibet to Everest」(一九二七年) 連れて行ってしまったことだった。 んだチベットのラマたち七人ほどが う写真が載っている。僧衣に身を包 二四年の隊では、 しかし、最もやっかいな問題は、 ノエルの書いた「Through 隊員のノートン ハザー

質学者がいた。仕事として石を拾い 隊とチベットとの軋轢は深刻だった。 重な記録がある。それによると、登山 歴史家の金子民雄が、ヤングハズバ 中央アジア探検史の研究で知られる ンドの評伝をまとめるために、精力 集めたが、それをチベット人たちは 的に収集した史料の中に、当時の貴 二一年の偵察隊にヘロンという地 スウェン・ヘディンの探検はじめ

している」と問題にした。 英国人がトルコ石を持ち出そうと 二三年の隊は、ノースコル下の雪

> られていない。 座っている写真だが、 に、本文の中で彼らのことにはふれ 不思議なこと

ら「撮影班」として参加した。 目的である。社長にはヤングハズバ クスプローラーズ・フィルム社」と り、きっかけを作ったノエルは「エ ンドをかつぎ、自身も二二一年の隊か の挑戦を映画におさめよう、という いう会社を設立した。世界最高峰 その宣伝のためにラマたちをチベ エヴェレスト登山が始まるにあた

年も入れなかったことの背景には、 僧を見世物にした」と怒りを買った。 どを披露したことが、 映画の上映にあわせてラマの踊りな を見ることはなかった。 マに助けられた形でこれまで日の目 マロリーとアーヴィンの遭難のドラ ルに発展しかけたこれらの問題は 以上のような経緯があったのである。 四年以降、三三年の第四次隊まで九 入域をいっさい許可しなかった。二 ダライ・ラマは、以後英国登山隊の 十三世の知るところとなり、「ラマ ット政府に無断でロンドンに招待し、 一時は、かなり深刻なスキャンダ ダライ・ラマ

が重要な意味を持つのは、その故だ 実がある。日記、書簡、 書かれた本だけでは、 公文書など 見えない事

凸

稿ください。 詩などを掲載するページです。どしどしご投 一点につき二〇〇字詰原稿用紙五~六枚でお 会員の皆様のご意見、 (紙面に限りがありますので、 エッセイ、俳句、



ラスト 野田四郎

七大陸最高峰に登って

野口 健

れる。ベースキャンプから歓声が飛 けてきた挑戦である。サポート隊の こかしら地平線が丸くなっていた。 下にした。そこから眺める地球はど び込んできた。その瞬間、緊張し続 いるベースキャンプに無線連絡を入 七つそろって一つ。私がこだわり続 三十分、私は世界で最も高い地を足 けてきた体の力がスーと抜けた。こ 一九九九年五月十三日、 午前九時

3度目の挑戦で成功

先輩を殴りつけ、高校入学直後にし シャしていた。ちょっとしたことで でもない。いつもどこかでムシャク またこれといった目標があったわけ れでやっと日本に堂々と帰れる。 方面へと旅に出る。 らないが、学校に内緒でひとり関西 て停学処分。自宅謹慎しなければな のことがなによりも嬉しかった。 始まった。当時、学校の成績も悪く、 私の七大陸最高峰挑戦は十年前に 2

また、憧れとなる。氏の本を片っ端 がなかった。まったくの偶然であっ ある。山の本など一度も読んだこと から買いあさり、 世界中を自由に放浪しながら各大陸 変わるとは思いもしなかった。ただ、 植村直己の「青春を山に賭けて」で 最高峰に登る植村氏の姿が眩しく、 た。この時、この一冊で人生が大きく 途中、本屋で一冊の本と出会う。 むさぼり読んだ。

> 校へと戻る。相変わらず勉強はでき とのことで同行を許された。 る。かなりしつこくお願いし、 とっては、またとないチャンスであ 早い」と断わられる。しかし、 たいと志願するが、「まだお前には 峰のモンブランに遠征隊を送るとの 会のメンバーがヨーロッパ大陸最高 充実感に感動した。その翌年、 で一度も経験したことがないような 会に入り冬の富士山に初登山を行う。 いと前向きに考えるようになった。 んでいたが、勉強だけが人生ではな 績が悪い自分自身をクズだと思い込 毎日がなぜかワクワクしていた。成 なかったが、氏の本に出合ってから 情報を得る。リーダーに自分も行き ヘロヘロになるが、それでも、 停学処分から半年後、社会人山岳 一カ月後、停学処分が終わり、 出 今ま であった。

彼方のアフリカ大陸に思いを馳せて 事モンブランに登頂。山頂では遥か に登頂。ほとんど山の経験がない自 らんだ。 分が勢いのみでヨーロッパ大陸、 いた。同年十二月、キリマンジャロ 頂で、七大陸最高峰登頂への夢が膨 ってしまった。キリマンジャロの山 フリカ大陸の最高峰を立て続けに登 九〇年八月、高山病にかかるも無 7

試で入学してからは、私の冒険に拍 九二年、亜細亜大学に一芸一能入

高峰マッキンリーに登頂した時点で、 車がかかる。九三年六月、北米大陸最 び世界最高峰に挑む。今度は体調が キロ以上を残し、敗北。九八年、再 てもらえない。体調を崩し、咳き込 ランマに挑むが、全く勝負さえさせ 何とかなると調子に乗ってしまう。 身も順調に行き過ぎていたせいか、 は、七大陸最年少へと騒ぎ出す。私自 樹立する。九六年十二月、南極大陸 五大陸最高峰登頂世界最年少記録を 悪天候の中から脱出するのが精一杯 〇〇メートル手前で天候が急変し、 素晴らしくよかったものの、山頂四 最高峰に登り、この頃からマスコミ 九七年、ついに世界最高峰チョモ 肋骨を三本折り、山頂まで一〇

う終わった」と批判を頂戴する。 こぼれから始まった挑戦だ。失うも まうだろう。失敗を恐れたが、落ち うし、自分自身、精神的に潰れてし 同じく失敗すれば、スポンサーの企 しいが結果を出せない以上、自分の ら「結局、 のは何もない、と奮起し、 業も私の挑戦から降りてしまうだろ 責任であった。もし三度目の挑戦で 世界最高峰挑戦となった。 二連敗し帰国した私は、多方面 あいつは実力がない。 \$

人の仲間を山で失った。辛かった。 山登りを始めて十年、ちょうど十

何度もこの挑戦を止めようかと迷った。しかし、私は登り続けた。いかた。しかし、私は登り続けた。いかなる状況の下においても挑戦することにより希望を得てきた。これが一九九九年五月十三日、結果となって現れた。背伸びをしているうちに、現れた。背側がでしまったのかもしれない。失敗を極度に恐れるよりも、れない。失敗を極度に恐れるよりも、人生、常に挑戦するほうがいい。そんないるない。

山登りを中心に据えて

松原尚之

私は現在三十四歳、フリーランスで上レッキング・ガイドなどの仕事で上かる。この不況といわれる時代に会いる。この不況といわれる時代に会いる。この不況といわれる時代に会いあ。この不況といわれる時代に会いる。

村は 本は は 体的な 登山を 始めた。 山をやろうと とにかく美しい 風景が 見たかったからである。 三千メート ルの高山の 雲海や、 雪山など、自分 がそれまでに接したこともない美し い世界に憧れていた。 でも、山岳部 は怖そうだし、ましてヒマラヤまで は怖そうだし、ましてヒマラヤまで

は山も好きだが、極地も死ぬまでに計画を立てているのを耳にした。私

で、これはチャンスとばかり大西さ

度は行くべき場所と思っていたの

んに手紙を出したところ、快くチー

ムに加えてもらうことができた。

しかしこの頃の私には、ビール会

前は雪山のできる山のサークルに入ろうと考えていた。しかし新入部員ろうと考えていた。しかし新入部員ろうと考えていた。しかし新入部員ろうと考えていた。しかしまでやる気はないし」と考えていたと思う。それからは一気呵成に山にのめう。それからは一気呵成に山にのめう。それからは一気呵成に山にのめう。それからは一気呵成に山にのめう。それからは一気呵成に山に、さっそく連れていってもらった。浪人中、大学に入ったら一年間休

は、されるく連れていってもられた。 浪人中、大学に入ったら一年間休 学して、世界を貧乏旅行して回る計 画を立てていた。私は子供の頃から、 世界中を駆けめぐる自由な人生を夢見ていた。たとえば植村直己さんのように。山ばかり行っていたので、 大学は六年かかってやっと卒業したのだが、その二十五歳の大学を卒業 する時点では、まだ「自由な」人生 に踏み出す勇気はなかった。それで、 とあるビール会社に就職した。営業 マンだったが、仕事は面白く、夜遅 くまで熱心に働いた。ところが一年 も経たない頃、明大山岳部で二年先 も経たない頃、明大山岳部で二年先 も経たない頃、明大山岳部で二年先

> と初めて決意することができた。 があってもとにかく南極には行こう。 れてはいけないと強く思い、もう何 に慣れ親しんだこの美しい世界を忘 都会でビジネスマンの生活をしてい た。そこで見た美しい景色は、普段 出すことはとうとうできなかった。 た。しかし、これを大西さんに言い 何度か南極を諦めようと本気で考え と二股をかけた生活に焦りを感じ、 事のほうに傾いていた。仕事と南極 たいが、生活の大部分は明らかに仕 りがいが感じられた。南極には行き 社の営業の仕事も本当に面白く、や た私にはショックだった。大学時代 た湖の上で、橇を引く練習に出かけ 冬になり、北海道富良野の凍結し

南極の出発まであと一年となった一九九一年の十月、思いもよらぬ大きなアクシデントが起きた。南極隊きなアクシデントが起きた。南極隊きなアクシデントが起きた。南極隊のあらゆる面での中心であった大西さんが、ヒマラヤで雪崩に遭って亡さんが、ヒマラヤで雪崩に遭って亡だが、数千万円かかる費用を出してだが、数千万円かかる費用を出してたが、数千万円かかる費用を出してたが、数千万円かかる費用を出してたが、数千万円かかる費用を出してたが、数千万円かかる費用を出してたが、数千万円かかる費用を出してたが、数千万円かかる費用を出して表されるスポンサーを新たに捜し直すという難題が持ち上がった。ただ当という難題が持ち上がった。ただ当ない。

っよっよ会士こ南極り話を打ち月支援の賜物なのだが……。 すをはじめ、多くの方々の温かいご

だが、その前にグリーンランドでプ 月、ついに南極に向けて旅立った。 原を三〇〇キロ橇を引いて歩き、十 七月、グリーンランドに出かけ、 要だった。年が明けて九二年の五~ レ合宿も予定しているし、準備もあ 度を設け、私は晴れて一年二カ月と 会社は私の計画を面白がって「フロ 半日後すぐに「休職で行けるよう会 けざるを得ない時期が訪れた。言い るしで、それくらいの長い休みが必 いう異例の長期休暇を認められた。 ンティア休職制度」という新たな制 社に働きかける」と言ってくれた。 出すのは本当に苦しかった。はじめ 退職はやむなし」と言った上司が、 南極に行っているのは三カ月なの 南極は、三六〇度ぐるりと周囲を いよいよ会社に南極の話を打ち明

南極は、三六〇度ぐるりと周囲を南極は、三六〇度である。私たちが行真っ平な雪野原である。私たちが行真っ平は当時にとんどなく、絶えず雲一つと真っ昼間。さらに天気が崩れることがほとんどなく、絶えず雲一つことがほとんどなく、絶えず雲一つない青空が広がっている。何十日歩き続けても、風景の変化が全くない。ずまで歩いた。一人一台引いた橇の重まで歩いた。一人一台引いた橇の重さは出発時で一五〇キロ。変わらぬさは出発時で一五〇キロ。変わらぬさは出発時で一五〇キロ。変わらぬ

いものだったのだ。なぜか? いものだったのだ。なぜか? と普通は考えるが苦痛なのでは? と普通は考えるが苦痛なのでは? と普通は考えると思うが、事実は逆だった。この単と思うが、事実は逆だった。 足きて、歩いて、テントを張って、食べて、歩いて、ただひたすら、起きて、

そんな変わらない景色の中をただ

だろうが、それが二カ月以上続き が一日だけならたいしたことはない に登ろう、再来年は……。考えるの である。来年どこに行こう、 想を始める。何を考えているのかと 黙々と歩いていると、人は自然に空 どん細かく具体的になっていく。こ ドックに入ろう、などと計画がどん そろ体にガタが来るだろうから人間 こうが、再来年、再々来年と続き、 空想する時間は限りなくあるのだ。 壁に隔絶された、人間三人きりの世 生のスケジュールができ上がった。 うして八十歳くらいまでの細かな人 しかも一日十時間も歩く。すなわち いうと、大体は帰国してからのこと かつ自分にとってこれ以上ないとい になった。その空想は本当に楽しく 界であったという点も、思考に余分 しまいには五十何歳何カ月ではそろ なものを持ち込ませない大きな助け するとどうなるか。来年どこに行 付け加えるなら、外の情報から完 あの山

> 南極から帰って、その時考えた人生スケジュールどおりに生きている りしているのも、南極で考えた人生 でフリーランスで好きな山登りばか でフリーランスで好きな山登りばか はいが少なからず影響しているよう

日本に戻り、一年二カ月ぶりにどール会社の営業の仕事に復帰した。し、特別の休暇を認めてくれた会社に思義を感じていたので、また以前に思義を感じていたので、また以前のようにバリバリ仕事をしようと思っていた。ところが、気持ちは一生っていた。ところが、気持ちは一生っていた。ところが、気持ちは一生っていた。ところが、気持ちは一生っていた。ところが、気持ちは一生っていた。ところが、気持ちは一生っていた。ところが、気持ちは一生っていた。ところが、気持ちは一生っていた。とうない。

えていた会社を、結局一年十カ月でじた。復職後三年は我慢しようと考チャンスだ、と私は啓示のごとく感た。これは素晴らしい登山、最高のた。これは素晴らしい登山、最高のた。これは素晴らしい登山、最高のくれい上東

うほど有意義だった。

昼戦 とこのドトニ月末、恵七寿る気持ちはなかった。 退職。もう二度とサラリーマンに戻

私は多分一生忘れないと思う。 私は多分一生忘れないと思う。 私は多分一生忘れないと思う。

九六年三月、マカルーの登山に出発した。私にとって初めての八千メートル峰登山だ。ネパールから陸路で国境を越えてチベットに入り、荒で国境を越えてチベットに入り、荒を辞めた価値はあったな、と感じた。マカルー登山は本当に厳しかった。砂山中何度も、もう登頂はだった。登山中何度も、もう登頂はだった。もし登頂できたらどんなに同時に、もし登頂できたらどんなに見いだらう、そうぎとなどら登山に出

を舒めた価値はあったな と感じた マカルー登山は本当に厳しかった。 ルートは筆舌に尽くし難いほど剣呑 だった。登山中何度も、もう登頂は だった。登山中何度も、もう登頂は だった。登山中何度も、もう登頂は だった。登山中何度も、もう登頂は だった。登山中何度も、もう登頂は だった。 ひいだろう、そう考えながら登山 を続けていた。そして、幸運にもアタックのチャンスをもらい、マカルーの狭い絶頂に立つことができた。 夢だった初めての八千メートル峰の 夢だった初めての八千メートル峰の う二度とないのではないか、と本気 う二度とないのではないか、と本気 で思い、涙を流した。

それ以降は今日に至るまで、フリーランスで好きな山登りを続けている。将来の不安は全くない。それはなが、特別でが自分の本当の人生、生きるべきが自分の本当の人生、生きるべきない。それは山登りが、大学に入る。今も私には山登りが、大学に入る。今も私には山登りが、大学に入る。今も私には山登りが、大学に入る。今も私には山登りが、大学に入る。今も私には山登りが、大学に入る。今も私には山登りが、大学に入る。今も私には山登りが、大学に入る。

●編者注・この原稿は、六月五日に 開催された上高地ウエストン祭での 開催された上高地ウエストン祭での





野田四郎・著

との熱い日々の記録である。 ウチカウシ」「十勝・大雪冬期縦走 印象深かった山行と花や木について、 で生き生きした活動が彷彿する。 絵に続いて紀行と随想がある。 絵とともに綴ったもの。 高校理科教師の現役を退いた著者が、 「シュンベツ川遡行」「カムイエク 「ガルワル・ヒマラヤ」など海外の 北大山岳部時代から五十年を経て 山岳部時代とその後の山行の山

紀行や「詩とうた」、「北国の花と樹

画文集「山・ 森 花

国人が旅行するには制約が多く、

中国の雲南大学に留学。

それ

鳥取大学機械工学科を卒

動かないが、自転車は押せば進むし、 動計画の軸にした。車では壊れたら は濃い。彼はマウンテンバイクを行 は留学生にも及ぶようで、 まで温めていたチベット地方への一 の途中に望まれる大雪山の峰々の いざとなれば捨てて歩けばい お国柄か学生は優遇され、 変な困難を伴うようだ。 人旅を、冬休みを利用して実現した。

その恩恵 旅の内容

てはと提案しましたが

部形見分けと、

う青春時代から今に至るまでの山と 自然への想いが感じられる清々しい な自然と厳しさに魅了された」とい 文明を論じたもの。 冊である。 藤野三一九一七一二〇 関西育ちの著者が「北国の原始的 で頒布します。連絡先・札幌市南区 九九九年二月発行 非売品 (送料込み五千五百円 野田四郎 二四ペー (三栖寿生)

た(七月号の図書受入 天人より蔵書をご寄贈い 計3部

今西さんは、 アル

関してさまざまな目でとらえた本を

中国の開放政策以降、

チベ

ットに

読む楽しみが増えた。

とはいえ、

多数の本を所蔵されて 巻揃いをはじめ、 のヒマラヤ・極地関係 壽雄文庫」として残し いました。一括 イン・ジャー 各種全集など ナルの全 「今西

故今西壽雄氏寄贈の地図

1. 山名一覧表 (発行:信毎書籍出版センター) ①青蔵高原山峰図・山脈別山名一覧表 A 4 版・全13ページ

2. 中国地図

は植物へ科学的眼差しを向けたエ

セーであり、一森の文化史」は森と

致すあたりも、 前のみならず、

登攀ルートに思いを 同好の士として共感

ては、

①本会の蔵書に

旅

に分けて残すことにな

支部内の「今西文庫

会図書室ならびに関西 宅に残す本を除き、

りました。

本会の図書室用とし

計6枚 縮尺 [中国地図出版社] 発行年 枚数 ①The Qinghai - Xizang Plateau 2,500,000 1989 1 1 2,500,000 1989 ②青藏高原山脈図 1 3The General Map of Mountain Peaks in China 5,500,000 1989 ④中国山峰一覧図 5,500,000 1989 1 ⑤Namjagbarwa (南迦巴瓦登山図) 50,000 1990 1 [John Bartholomew] (6) China & Mongolia (World Travel Map) 6,000,000 1989 1

3. ONC地図(縮尺:1,000,000) National Ocean Survey Sheet No. (Ed. / Year)

①F-6 (5/1980) ②F-7 (3/1975) 3F-8 (2/1974) ④F-9 (4/1979) ⑥G -7 ⑦G-8 (3/1973)® G-9 (5/1980) (5) G - 6 (7/1982) (6/1980)@H-9 (6/1978) ①H-8 (6/1978) 9 G - 10(10/1980) ⑩ G −11 (7/1980) 3H-10 (6/1978) (4/1975) (5) H-12 (7/1981) 16H-13 (5/1982) ® J -10(10/1983) (9) J - 11 (11/1980) ① J -9 (4/1980)

られた。 挑む冒険の素晴らしさを再認識させ を覚える。 自分なりの価値尺度を持ち、 若者の感性の爽やかなこと。今日、 二八五ページ 一九九九年四月 高度順応も参考になる。 千七百円 山と溪谷社発行 未知に

今西壽雄元会長の蔵書を受贈

雄氏が一九九五年十一月に逝去され、 第十六代会長・名誉会員の今西壽 ただきまし

安東浩正・著

「チベットの白き道

G 6 11 図出版社発行のすべての地図ならび 追記・前記ヒマラヤの地図は中国地 文庫」に追加とさせていただきまし もの④ヒマラヤ関係地図(別表リス 必要なもの③百年史の編集に必要な 庫はあるが利用頻度が高く、 ない本もしくは欠本している本②在 ヒマラヤ地域をカバ ト)とし、残りの本はすべて「今西 ONC地図の中、 H 8 13 中央アジア・ するF6~ 9 松田雄一 予備が 12

幅等です。

計20枚 20 J - 12 (6/1981)

図書受入報告 (1999年6月)

著 者	書 名	ページ・大きさ	出版元	出版年	寄贈/購入別
金井弘夫	尾瀬ケ原の池溏地図と水生植物 5種の分布消長/カタログ/メモノ	- ト 92pp/26cm		1998	著者寄贈
近江百山之会(編著)	近江百山	222pp/26cm	ナカニシヤ出版	1999	出版社寄贈
大関保	アジアの山旅(山岳叢書No.4)	214pp/20cm	穂高書店	1999	著者寄贈
篠田悟(編)	名古屋溪稜会ヒンズークシュ登山隊1977報告:イストル・オ・	ナール 68pp/26cm	名古屋溪稜会	1977	発行者寄贈
広島山の会 (編)	山毛欅林より:高見和成遺稿追悼集	183pp/27cm	遺稿追悼集編集委員会	1999	高見三知子氏寄贈
中島寛	一期一会の山、人、本	438pp/22cm	中島昭子(私家版)	1999	発行者寄贈
中村保(編)	針葉樹会報 (No.88) : 中島寬追悼号	68pp/27cm	針葉樹会	1999	発行者寄贈
高澤光雄 (編)	北海道山岳: JAC北海道支部創立30周年記念誌	161pp/22cm	JAC北海道支部	1999	発行者寄贈
安藤忠夫 (編)	東海山岳 (第8号·1999)	423pp/21cm	JAC東海支部	1999	発行者寄贈
松原尚之 (編)	ダウラギリ I 峰 (8167m) 洋梨ルート登山報告書: JAC青年部登山	¥1997 87pp/30cm	JAC青年部	1999	発行者寄贈
山家敏雄	岩手山に咲く花:山の写真帖	115pp/19cm	山家敏雄 (私家版)	1999	著者寄贈
加藤明文	山の花めぐり:列島縦断・高山植物の旅	158pp/26cm	恒文社	1999	著者寄贈
江本嘉伸	能海寛チベットに消えた旅人	303pp/20cm	江本嘉伸	1999	出版社寄贈
早川滉・他(編)	大町山岳博物館 その生い立ちと雷鳥研究:山小舎カルチャー	報告 50pp/30cm	早稲田大学岳友会	1999	発行者寄贈
菊地敏之 (編)	関東周辺の岩場 (クライミング・ガイドブックス)	278pp/19cm	白山書房	1999	出版社寄贈
石井光造	白神山地の山々	126pp/20cm	白山書房	1999	出版社寄贈
志水哲也	黒部へ:黒部八千八谷に魅せられて	342pp/21cm	白山書房	1999	出版社寄贈
岩橋崇至	槍穂高:岩橋崇至写真集:山と溪谷社創立70周年記念	出版 111pp/22cm	山と溪谷社	1999	出版社寄贈
みなみらんほう	らんぽう山日記:ただいま雲の上	287pp/20cm	山と溪谷社	1999	出版社寄贈
市毛良枝	山なんて嫌いだった	245pp/20cm	山と溪谷社	1999	出版社寄贈
佐瀬稔	残された山靴:佐瀬稔遺稿集「志なかばで逝った8人の登山家の最	期」 220pp/20cm	山と溪谷社	1999	出版社寄贈
向一陽	島のてっぺんから島を見る:島の山探訪記	363pp/21cm	山と溪谷社	1999	出版社寄贈
美坂哲男	いで湯行脚三千湯	311pp/19cm	山と溪谷社	1999	出版社寄贈
木暮理太郎	山の憶い出・上巻 (平凡社ライブラリーNo.293)	532pp/17cm	平凡社	1999	出版社寄贈
村山貢司	異常気象:多発する裏に何があるのか (ワニのNEW新書N	lo.9) 198pp/18cm	KKベストセラーズ	1999	松沢節夫氏寄贈
池原等	とやま県境踏破:無雪期	225pp/21cm	桂書房	1999	著者寄贈
岩手日報社出版局(編)		139pp/21cm	岩手日報社	1999	菊池修身氏寄贈
藤木高嶺	誰でも行ける世界の秘境	319pp/19cm	朝日新聞社	1999	出版社寄贈
渡邉悌二 (編)	1997年カンチェンジュンガ調査報告書	111pp/26cm	北大・ヒマラヤの村と自然を守る会	1998	編者寄贈
渡邉悌二 (編)	1998年カンチェンジュンガ調査報告書	114pp/26cm	北大・ヒマラヤの村と自然を守る会		編者寄贈

六月理事会

森、宮崎、高原、勝山、村井(葵)、 竹内各副会長、西村、村井 出席者] 大塚会長、小倉、 六月九日水 日本山岳会会議室 一十時五十分 十八時三十分~ (龍)、 大森、

と、松原理事の講演がよかったこと 六日開催のウエストン祭の感想とし 吉永各常任評議員、熊崎前理事 神崎、中村各監事、平山、中川 山、坂井、河西、山本、坂本各理事 高遠、溝口(鰺坂代理)、松原、増 て、多数の参加者で大盛況だったこ ○議事に先立ち大塚会長より、 [委任]平野、田邊各常任評議員

などが述べられた。

役員交代に伴う引き継ぎ(吉永→村 理事会に諮る。運営委員長は竹内副 については運営委員会で案を作り、 会長が留任する。 ①運営委員の選任については、一部 方についての提案。 一、第二回秩父宮記念山岳賞の進め 絹川→西村)がある。審査委員 竹内副会長

> 二、許可願い三件 関連委員会(学生部、指導、高所、 富山県水墨画美術館で開催)の後援 ①富山テレビより冠松次郎写真展 動」の審査基準を明らかにするため、 今年度の募集締切は七月三十一日。 第一回運営委員会を七月一日に開催 いので協力を要請する。 青年部、海外など)の意見を聞きた (十一月二十八日~十二月十九日、

②山と溪谷社第一出版本部より平成 西錦司氏の書籍撮影依頼。 もいっきりテレビ「きょうは何の日 ③日本テレビ放送網編成局より「お 本登山史 (仮題)」への資料貸出し コーナー (六月十五日放送)」で今 十二年三月発売予定の「目で見る日

学生部·宮崎

交流の柱としたい。 で四川省の山を予定。今回は中国側 予定。登山は九月、双方十名くらい 北京で中国登山協会と詳細を詰める までの経緯を報告。六月十一日より の申し出であることを考慮し、日中 日中学生交流登山計画について今

発言があった。 分を明確に、また参加する学生が主 体で、意見を反映させるべきだとの 山本理事より、山登りの本質の部

②表彰の対象分野の「優れた登山活

減った。 マッキンリー気象観測登山隊・森 第十次の隊員は別資料により七名

「新日本山岳志」 · 小倉副会長

までの日程などを決定。 版社はナカニシヤ出版、その他出版 柏木宏信氏(関西支部)を選出。出 同副委員長に大森久雄氏(首都圏) 委員長に高木泰夫氏(岐阜支部)、 五月二十九日当会議室で開催。編集 日本山岳志」の第一回の編集会議を 百周年記念事業の一環で行う「新

アルバータ実行委員会・増山 必要に応じて委員を増やすことも。 員長、絹川→西村、宇田川→山本、 代による委員(斎藤委員長→大塚委 での経緯について報告。また役員交 大塚会長がピッケルの寄託に関する 念行事の席で、カナダ山岳会会長と 田邊→高遠)の引き継ぎが行われた。 七月十日、長野高校創立百周年記 熊崎前理事(事務局長)より今ま

会報編集委員会·村井(葵

合意書調印を行う。

会員が喜ぶものにしたい。次号は 歴史がある。品格、読み応えがあり、 「夏山気象」「遭難対策」を特集。 昭和五年創刊の会報は六十九年の

山研運営委員会・坂本

継ぎで、村井(龍)常任委員を追加 委員会は役員交代による委員の引き 「ミニ水力発電プロジェクト」 実行

医療委員会・増山

医学シンポジウムを開催 五月二十六日、第十九回日本登山

自然保護委員会·河西

財務委員会·村井(龍) 提出したもの)を再度提出。 峰山自然保護についての書類 岩手県知事が交代したため、

委員会予算執行について説明。

①松原理事より「ダウラギリI峰」 ③六月の新入会員は二十名。 ②西村理事より六月三十日までに委 登山報告書刊行を報告。 員会名簿の提出を要請。

■会員異動

関本靖裕(一〇五七七) 恒川洋(一一九八四) 榆井利幸(九八〇四) 長谷川謙吾(一〇八八八八)

梅森玲子(一二〇一六)→平林玲子 終身会員

改姓

市川英脩(四七二五

INFORMATION

イラスト ·村上直温

▼会報「山」合本・製本のお知らせ

事務局までお送りください。 希望の方は、十月末日までに現本を 、製本業者は前回と同様です。 会報六〇一~六五〇号の合本をご

・全面同色(ブルーグレー コーナー(角)の補強なし

背表紙にタイトルと会員番号を

索引は巻頭綴り

一、「山」のバックナンバーは各号 はコピーで代用になります。 に欠号もありますので、その場合 お書き添えください。ただしすで 百五十円です。必要な方はその旨

三、製本費用は、梱包・返送費用を の旨お書き添えください。代金は の場合は八百円引きですので、そ 含めて五千円です。来室受け取り 日ご送金ください。 書籍返送時に同封の振替用紙で後

|秋の懇親山行のお知らせ

締切 費用 以外の方もぜひご参加ください。 宿泊 檜枝岐周辺の山歩きです。同期会 十月二日金~四日日 九月二十五日 先着三十名 を予定(希望の山を登山 会津駒ヶ岳、三岩岳、窓明山 往復バス利用 二日深夜発 檜枝岐温泉 「別館かどや」 一万円(バス代、宿泊費

*申込者には詳細を送付します。 ▶86同期会第一回山行「栗駒山」 三一九一一

ませんか。前夜は懇親会です。 栗駒山に紅葉を楽しみながら登り 九月二十五出~二十六日田 須川温泉 二十五日十六時三

締切 費用 または脳で海老沼清宛(〒三 会員番号を明記の上、 三二一〇〇二二 川口市西川 九月二日 先着二十名 二 | 五五一〇一六六) 一万五千円(宿泊、懇親会) |—||七—|四、M·O四八 ハガキ

*申込者には詳細を送付します。 ▼東京都写真美術館の写真展

写真の系譜」を開催します。明治時

「山を愛する写真家たち 日本山岳

記して奈良千佐子宛(〒一五

ハガキに氏名、会員番号を明

〇一〇〇〇一 渋谷区神宮前

1日

アルパインスケッチクラブ 青年部

8日 7 日 3日 2日 4日 常務理事会 二火会 アルパ 山の自然学研究会 所委員会 山岳編集委員会 フォトビデオクラブ インスケッチクラブ 総務委員会 資料委員会 青年部 95同期会 高

15 日 14 日 10日 9日 委員会 フィルムビデオ委員会 アルパインスキークラブ ルパインスケッチクラブ 百年史委員会 学生部 理事会 93同期会 7

18日 17日 16日 三水会 科学委員会 98同期会 営委員会 山げらの会 山岳編集委員会 学生部

日本山岳会会報

代に山岳写真を切り拓いてきた先人 る写真家約四十人の作品を展示紹介。 たちの足跡、現在も国内外で活躍す 21 日 総務委員会

97同期会

資料

95同期会

アルバータ実行委員会 自然保護委員会 山げらの会 委員会 図書委員会 11/11

九月七日火~十一月四日休

24 日 科学委員会 キークラブ バンク研究会 学生部 アルパインス データ

25 日 緑爽会 総務委員会

上映など関連事業も企画しています。

*公開録音、講演会、山岳関連映像

三二八0-00三二)

田一二三三 東京都写真美術館

TEL·OIT

(目黒区)

水力発電計画委員会

authoritativeの但し書きあり」の ●訂正 誤りでした(notが抜けています)。 の地図のキャプション「国境につい いはShould not be taken as 六月(六四九) 号三ページ 6月来室者65名

●原稿送付のお願い

E-メールで奈良原町子宛 ソコンで原稿製作される場合は ₩・〇四二一七二二一五五二八 村井葵(〒一九四―〇〇二二 町田市森野三―二―一)

narahara@mvc.biglobe.ne.jp M: 〇三一三三三四一八一一三

東京都千代田区四番町5-4 ビュウハイツ四番町 東京(03)3261-4433 東京 (03) 3261-4441 編集人 村井 葵 刷 株式会社 双陽社

1999年 (平成11年) 8月20日発行

発行所 社団法人日本山岳会 ₹102-0081

山

651号

(19)